

2.普及活動事業部の課題と対応

課題	対応策	具体的取組み状況
1. 普及活動事業部の体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・全国7ブロックの代表委員の任命 ・各ブロックでのMTG開催 ・全国ネットワークの確立 	<p>関西、中国四国は完了、関東と北海道東北は選定中</p> <p>関西、中国四国はすでに開催（現状と課題を確認し、取組み方針を固める）</p> <p>全国7ブロックの代表委員と普及活動事業部との連携</p>
2. 情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの開設（情報の収集と発信） ・各地区大会情報の共有 ・各チーム情報の共有 ・GMWC（バルセロナ）等国際大会 ・全日本マスターズ大会 ・その他情報の掲載 	<p>8月1日に開設、各チームメンバー等への周知徹底</p> <p>S&L大会、JGMA年間スケジュールを掲載、今後は各地区大会情報を掲載予定</p> <p>HPに掲載済、チーム紹介を進めていきたい</p> <p>HPに掲載済</p> <p>HPに掲載済</p> <p>利用可能なコート情報（フットサル場）、練習会の案内など</p>
3. 試合・練習機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな大会の創設（6人制、11人制） ・マスターズリーグの創設 ・各地区大会への参加チーム募集 ・グラウンドの確保 ・強化合宿への参加 	<p>（事例）シニア&レディス大会、東京ホッケーフェスティバル 今後は地区大会の拡大等を図る</p> <p>関東でこの冬にリーグ創設予定、中国四国地区でも検討中</p> <p>HPを活用</p> <p>（事例）昨年秋東京に駒沢公園G完成、来年秋大井G完成予定</p> <p>HPに案内を掲載</p>
4. 参加チームの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなチームの創設 ・連合チームの組成 	<p>（事例）2018年 横浜HC、2017年 京丹波M+女子3チーム（立命館、KTBK、W.CRAZY）</p> <p>12月のJGMA大会は連合チームによる東西対抗を想定、今後はHPでの公募も検討</p>